

青森の港湾ビジョン

『青い海と港から明日へ、世界へ』

平成18年 月

国土交通省 東北地方整備局

青森県

はじめに

新しい世紀の扉が開かれ、グローバル化の進展、市民ニーズの多様化、少子高齢化社会の到来など、我が国を取り巻く社会・経済情勢は大きな転換期を迎えています。このような変化に対応するため、国土交通省港湾局では21世紀における港湾整備のあり方を示した「新世紀港湾ビジョン(平成13年3月)」を、また、国土交通省東北地方整備局では東北地方における港づくりの目標を示す「東北港湾ビジョン(平成14年9月)」を策定しました。

こうした動きを受けて、国土交通省東北地方整備局と青森県は、関連構想及び地域計画等を踏まえ、地域産業や経済活動の活性化及び市民生活の利便性と生活環境の向上に資することを目的とし、『青森の港湾ビジョン』を策定しました。この『青森の港湾ビジョン』は将来の港湾の果たすべき役割や方向性を示すものです。

策定にあたっては、地域の有識者からなる委員会のご指導の他、関係する市民の方々からなる地域別懇談会(津軽地域、南部地域、下北地域で開催)のご意見も十分拝聴し、ビジョンに反映させました。今後は、市民のみなさんとの協働によりビジョンを実現させていきたいと考えています。

なお、ビジョンの目標年次は、現在、国土審議会において検討されている国土形成計画ならびにそれを受けた広域地方計画との関連も視野に入れ、ビジョンの目標年次は、概ね30年後(2035年)としております。また、ビジョンの対象となる港湾は、青森県内に所在する港湾のうち、むつ小川原港と関根浜港を除く¹、重要港湾2港・地方港湾11港の計13港湾としています。

- 1 むつ小川原港は、「新むつ小川原開発基本計画」策定後の港湾計画改訂時等において今後の在り方を検討するため、本ビジョンの対象外としています。また、56条港湾である関根浜港は専用港的に使用されているため本ビジョンの対象外としています。

青森県港湾の位置



市町村の行政界は平成18年1月1日現在

目 次

はじめに

第1部 青森県港湾の将来構想

章 港湾を取り巻く国内外における環境の変化	1
1. 東アジア地域の経済成長等グローバル化の進展	2
2. 生活の向上や環境保全への国民意識の転換	3
3. 地域の自主性・広域連携の必要性の増大	4
4. 防災対策の必要性の増大	5
5. 他の国内交通体系の形成	6
章 青森県港湾の主要課題と目指すべき方向性	7
1. 国際物流機能の強化	8
2. フェリー機能の高度化・高付加価値化及び RORO 船の活用	11
3. 新しい産業の振興	13
4. みなとまちづくり・人づくりの全県的展開	15
5. 港を活かした観光振興	17
6. 臨海部における防災機能の強化	21
章 ビジョン実現に向けた取り組み	22
1. ビジョン実現に向けた組織・体制づくり	22
2. 市民参画の促進による港への関心の付与と多様な主体との連携	22
3. 背後地域との連携強化	22
4. 港湾計画への反映	22
5. 港湾施設の効果的・効率的な整備	22
6. 既存ストックの有効活用と適切な維持・管理	23
7. 環境・景観への配慮	23
8. ビジョン実現へ向けた情報の収集	23
9. 社会・経済情勢に応じたビジョンの見直し	23

第2部 各港湾の将来構想

章 青森県港湾の目指すべき方向性及び各港湾の検討すべき戦略の体系図・・・24

章 各港湾の発展イメージと検討すべき戦略・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・25

1．青森港・・26

2．八戸港・・33

3．大湊港・・40

4．七里長浜港・・43

5．大間港・・46

6．小湊港・・49

7．野辺地港・・51

8．川内港・・54

9．尻屋岬港・・57

10．深浦港・・59

11．子ノ口・休屋港・・61

12．仏ヶ浦港・・63

用語解説・・65